

## ニュージーランド ゼスプリの2024/25年度の販売額は史上最高

[FreshPlaza 2025年5月21日](#)

ゼスプリは、2024/25年度シーズンに全世界で史上最高の51億4千万NZドルの営業収益を達成したとの決算を発表した。また、同社の全世界の果実販売額は50億3千万NZドルに達し、2025年までに45億NZドルを達成するという2015年に設定した目標を上回った。(1NZドル=約86円)

キウイフルーツ販売事業者であるゼスプリは同シーズン、2023/24年度の1億6,420万箱を上回る、史上最高の2億2,090万箱のキウイフルーツを販売した。ニュージーランド産果実とサービスに対するゼスプリからの支払い総額は31億NZドルに達し、国内産業への直接的な還元額が初めて30億NZドルの大台を超えた。これらの支払いは、バイオブプレんティ、ノースランド、イーストコースト、ネルソン、ワイカト等の主要な産地に配分された。

ゼスプリの税引き後純利益は1億5,520万NZドルで、前年の1億7,330万NZドルから減少した。この減少は、主に配分可能面積の減少に伴うライセンス収入の減少によるものであった。しかし、ライセンス収入を除くと、同社は2023/24年度の2,040万NZドルを上回る史上最高の7,980万NZドルの法人純利益を記録した。年間の予想純配当金額は、1株当たり0.77NZドルである。

ジェyson・テ・ブレイクCEOは、この結果は、主要な国際市場に記録的な収穫物を届け好調な売上を達成するための業界関係者による多大な集団的努力を反映していると述べた。同氏は、ゼスプリがこの分野の下押し圧力にもかかわらず、コアとなる市場で数量と金額の両方を増加させたことを指摘し、販売額が50億NZドルを超えたことは業界の誇りの源であると強調した。

同CEOによると、1ヘクタール当たりの生産者の収益は、幾度かの困難なシーズンの後の収量の増加に支えられ、グリーン、有機グリーン、スイートグリーンの各カテゴリーのキウイフルーツで記録的なレベルに達した。また、1箱当たりの平均収益も、すべてのカテゴリーで2月の予測を上回った。

ゼスプリの法人としての業績も改善し、ニュージーランド産供給部門は2024/25年度に5,640万NZドルの利益を上げ、2023/24年度の1,020万NZドルの損失から大きく逆転した。この改善は、収穫量の増加、市場価値の向上、及び間接費の効率化によるものである。

ゼスプリのニュージーランド以外の供給事業も好調で、2,650万箱を販売し、販売額は6億5,240万NZドルに達した。テ・ブレイク氏は、ニュージーランド産の販売シーズンの開始を支援する上でのゼスプリ世界供給(ZGS)事業の重要性を強調し、生産者投票でニュージーランド以外での生産拡大が認められたことを受けて、オフショアの生産量がさらに増加すると予想されると指摘した。

今後の見通しについて同氏は、2025/26年度シーズンに好調な結果を出し、引き続き生産者のために価値を高めるという同社のコミットメントを強調した。同氏は、軟調な市場環境にもかかわらず、欧州、米国、アジアでの販売が堅調にスタートしたことを報告し、ゼスプリが今後10年間でブランド主導の需要開拓、サプライチェーンの変革、及び製品のイノベーションに注力することを強調した。